



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月28日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 紀彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 千葉 昌 TEL (03) 3231-6811
 四半期報告書提出予定日 平成22年10月29日 配当支払開始予定日 平成22年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	22,441	4.5	3,066	△12.3	3,161	△12.5	1,747	△14.6
22年3月期第2四半期	21,469	14.4	3,494	37.5	3,611	32.9	2,046	6.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	61 74	—
22年3月期第2四半期	72 31	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	85,813	75,717	88.2	2,675 34
22年3月期	85,637	74,641	87.2	2,637 30

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 75,717百万円 22年3月期 74,641百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	18 00	—	22 00	40 00
23年3月期	—	20 00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	20 00	40 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,500	4.9	4,500	△26.5	4,700	△26.2	2,500	△31.4	88 33

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期2Q	28,800,000株	22年3月期	28,800,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期2Q	497,911株	22年3月期	497,562株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期2Q	28,302,317株	22年3月期2Q	28,302,854株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

◇ 薬事法その他の法令または規制の変化

◇ 薬価の改定

◇ 副作用の発現

◇ 研究開発に関するリスク

◇ 製造の遅延または休止

◇ 訴訟等のリスク

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報（4）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 研究開発活動	3
(4) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
【第2四半期累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の売上高は、22,441百万円と前年同期に比べ972百万円(4.5%)増加しました。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、本年4月に実施された薬価改定の影響を受ける中、「注射用フサン(蛋白分解酵素阻害剤)」は後発医薬品の使用促進策の影響もあり2,979百万円と前年同期に比べ1,216百万円(29.0%)減少しましたが、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」は3,883百万円と前年同期に比べ979百万円(33.7%)増加した他、平成21年3月に販売を開始しました「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」は3,320百万円と前年同期に比べ1,867百万円(128.6%)増加しました。

費用面におきましては、売上原価は9,089百万円と前年同期に比べ1,145百万円(14.4%)増加し、販売費及び一般管理費は研究開発費が増加したこと等により10,285百万円と前年同期に比べ255百万円(2.5%)増加しました。

以上の結果、営業利益は3,066百万円と前年同期に比べ428百万円(12.3%)減少し、経常利益は3,161百万円と前年同期に比べ450百万円(12.5%)減少しました。四半期純利益につきましては1,747百万円と前年同期に比べ299百万円(14.6%)減少しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、85,813百万円と前事業年度末に比べ175百万円(0.2%)増加しました。これは、キャッシュ・マネージメント・システム預託金は9,801百万円、商品及び製品は576百万円減少しましたが、有価証券は7,504百万円、現金及び預金は2,212百万円、受取手形及び売掛金は700百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

負債につきましては、10,095百万円と前事業年度末に比べ899百万円(8.2%)減少しました。これは、未払法人税等が666百万円、退職給付引当金が156百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、75,717百万円と前事業年度末に比べ1,075百万円(1.4%)増加しました。これは、主に利益剰余金が1,124百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、21,817百万円と前事業年度末に比べ13,589百万円(38.4%)減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が3,010百万円、減価償却費が682百万円、たな卸資産の減少額が398百万円となり、売上債権の増加額が700百万円、法人税等の支払額が1,903百万円となったこと等により1,504百万円の収入となりました。(前第2四半期累計期間は1,273百万円の収入)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入が7,500百万円、有価証券の償還による収入が4,685百万円ありましたが、定期預金の預入による支出が13,500百万円、有価証券の取得による支出が11,792百万円となったこと等により14,436百万円の支出となりました。(前第2四半期累計期間は6,336百万円の支出)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額が622百万円となったことにより657百万円の支出となりました。(前第2四半期累計期間は634百万円の支出)

(3) 研究開発活動

当第2四半期累計期間の研究開発費の総額は960百万円であります。

なお、スギ花粉アレルギーエキスをを用いた舌下投与による減感作(免疫)療法薬の国内第Ⅲ相臨床試験を開始しております。

(4) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、前回発表(平成22年4月28日「平成23年3月期決算短信(非連結)」)の予想数値を修正しております。

売上高は、「レミッチカプセル」「ツルバダ配合錠」の販売状況が計画を上回って推移していること等により、前回発表の予想数値を上回る見込みです。

また、利益面につきましても、販売費及び一般管理費が計画より減少する見込みとなったことから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表の予想数値を上回る見込みとなりました。

現時点における通期の業績予想数値は、売上高は445億円(対前回予想1.6%増)、営業利益は45億円(対前回予想12.5%増)、経常利益は47億円(対前回予想11.9%増)、当期純利益は25億円(対前回予想13.6%増)を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準等の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる当第2四半期累計期間の営業利益及び経常利益に与える影響は軽微であります。特別損失を計上したことにより、税引前四半期純利益は144百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は152百万円であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,383	12,171
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	20,933	30,735
受取手形及び売掛金	17,123	16,422
有価証券	12,201	4,697
商品及び製品	3,533	4,109
仕掛品	392	314
原材料及び貯蔵品	1,268	1,169
その他	977	905
流動資産合計	70,813	70,524
固定資産		
有形固定資産	6,016	6,300
無形固定資産	706	676
投資その他の資産	8,277	8,135
固定資産合計	15,000	15,112
資産合計	85,813	85,637
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,966	3,776
未払法人税等	1,307	1,973
賞与引当金	1,178	1,113
役員賞与引当金	23	37
返品調整引当金	4	3
その他	2,422	2,865
流動負債合計	8,902	9,770
固定負債		
退職給付引当金	672	828
その他	520	396
固定負債合計	1,193	1,225
負債合計	10,095	10,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	64,773	63,648
自己株式	△856	△855
株主資本合計	75,523	74,398
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	194	243
評価・換算差額等合計	194	243
純資産合計	75,717	74,641
負債純資産合計	85,813	85,637

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	21,469	22,441
売上原価	7,944	9,089
売上総利益	13,525	13,352
販売費及び一般管理費		
販売促進費	1,823	1,798
給料及び手当	2,151	2,183
賞与引当金繰入額	1,005	1,006
研究開発費	778	960
その他	4,272	4,336
販売費及び一般管理費合計	10,030	10,285
営業利益	3,494	3,066
営業外収益		
受取利息	97	73
受取配当金	15	16
為替差益	2	2
その他	11	17
営業外収益合計	126	110
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	9	14
営業外費用合計	10	15
経常利益	3,611	3,161
特別損失		
固定資産除却損	21	7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	143
特別損失合計	21	150
税引前四半期純利益	3,590	3,010
法人税等	1,543	1,262
四半期純利益	2,046	1,747

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	3,590	3,010
減価償却費	664	682
受取利息及び受取配当金	△112	△89
支払利息	0	0
固定資産除売却損益(△は益)	21	7
売上債権の増減額(△は増加)	△2,015	△700
たな卸資産の増減額(△は増加)	89	398
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,027	190
未払金の増減額(△は減少)	△223	△216
その他	705	30
小計	1,691	3,313
利息及び配当金の受取額	112	94
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△529	△1,903
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,273	1,504
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,500	△13,500
定期預金の払戻による収入	—	7,500
有価証券の取得による支出	—	△11,792
有価証券の売却及び償還による収入	1,693	4,685
有形固定資産の取得による支出	△629	△287
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△84	△165
投資有価証券の取得による支出	△814	△900
投資有価証券の売却及び償還による収入	2	2
その他	△4	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,336	△14,436
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△594	△622
リース債務の返済による支出	△39	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△634	△657
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,697	△13,589
現金及び現金同等物の期首残高	41,987	35,406
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,289	21,817

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

該当事項はありません。



2011年3月期 第2四半期決算 参考資料

I. 主な経営指標等の推移			III. 財政の状況		
1. 経営成績	P. 1	1. 四半期貸借対照表	P. 5
2. 財政状態	P. 1	2. 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 7
II. 損益の状況			IV. 設備投資の状況	P. 8
1. 四半期損益計算書	P. 2			
2. 製商品売上高	P. 3			
3. 売上原価	P. 4			
4. 減価償却費	P. 4			
5. 研究開発費	P. 4	【予想数値に関する注意事項】	P. 8

※ 本資料の数字は、百万円未満を切捨てて表示しております。

2010年10月28日

I. 主な経営指標等の推移

1. 経営成績

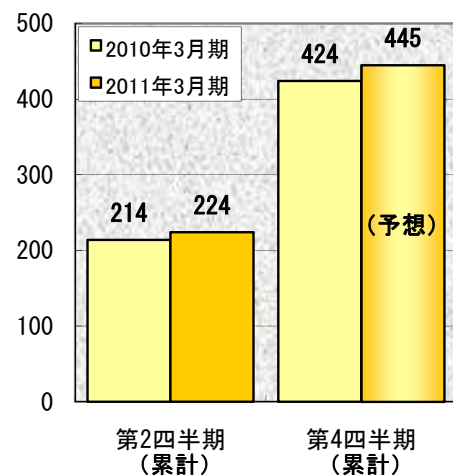
(単位：百万円)

	2010年3月期				2011年3月期		対前年同期増減(率：%)
	第1四半期	第2四半期 (累計)	第3四半期 (累計)	第4四半期 (累計)	第2四半期 (累計)		
売上高	10,748	21,469	33,073	42,416	22,441	972	(4.5)
営業利益	1,719	3,494	5,668	6,125	3,066	△428	(△12.3)
経常利益	1,784	3,611	5,860	6,371	3,161	△450	(△12.5)
四半期(当期)純利益	997	2,046	3,318	3,642	1,747	△299	(△14.6)
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	35.25	72.31	117.25	128.69	61.74	△10.57	(△14.6)
自己資本四半期(当期)純利益率(%)	1.4	2.8	4.5	5.0	2.3	△0.5	—
総資産経常利益率(%)	2.2	4.4	7.1	7.6	3.7	△0.7	—
売上高営業利益率(%)	16.0	16.3	17.1	14.4	13.7	△2.6	—

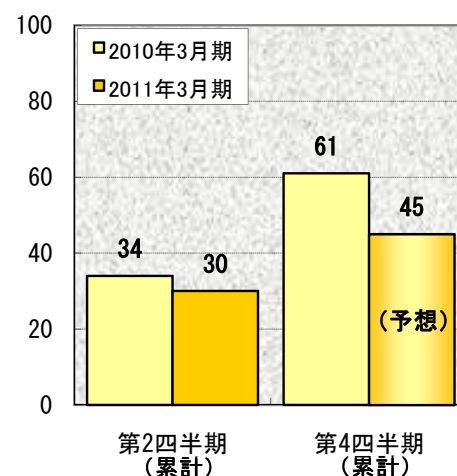
(単位：百万円)

2011年3月期予想※			対前期増減(率：%)
売上高	44,500	2,083	(4.9)
営業利益	4,500	△1,625	(△26.5)
経常利益	4,700	△1,671	(△26.2)
四半期(当期)純利益	2,500	△1,142	(△31.4)
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	88.33	△40.36	(△31.4)
自己資本四半期(当期)純利益率(%)	—	—	—
総資産経常利益率(%)	—	—	—
売上高営業利益率(%)	—	—	—

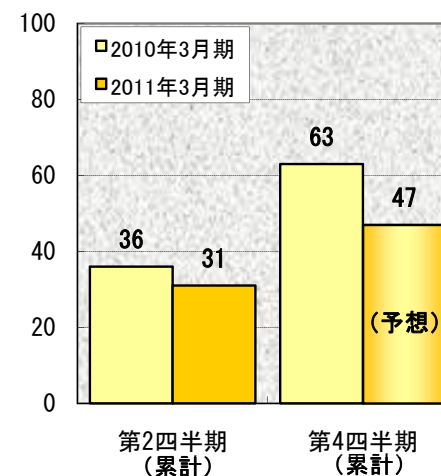
売上高(億円)



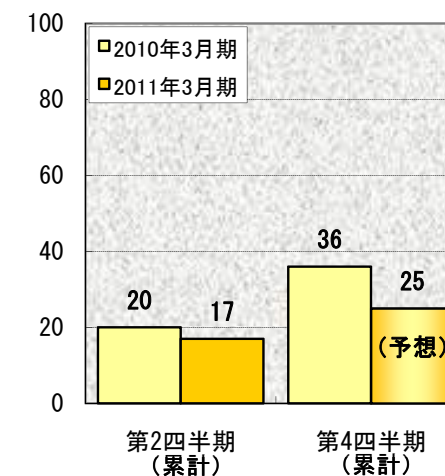
営業利益(億円)



経常利益(億円)



四半期(当期)純利益(億円)



2. 財政状態

(単位：百万円)

	2010年3月期				2011年3月期		対前期末増減(率：%)
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第2四半期		
総資産	81,467	83,066	84,297	85,637	85,813	175	(0.2)
純資産	72,485	73,558	74,305	74,641	75,717	1,075	(1.4)
自己資本比率(%)	89.0	88.6	88.1	87.2	88.2	1.1	—
1株当たり純資産(円)	2,561.07	2,599.00	2,625.40	2,637.30	2,675.34	38.04	(1.4)

※ 2011年3月期予想につきましては、予想数値を修正しております。

Ⅱ. 損益の状況

1. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	2010年3月期 第2四半期 (累計)	2011年3月期		2010年 3月期	対前年同期増減要因
		第2四半期 (累計)	対前年同期増減(率：%)		
売上高	21,469	22,441	972 (4.5)	42,416	【製商品売上高】 《増加要因》・ツルバダ配合錠、レミッチカプセルの伸張 《減少要因》・注射用フサンの減少
製商品売上高	21,321	22,315	994 (4.7)	42,133	
不動産賃貸収入	148	125	△ 22 (△ 15.1)	282	
売上原価	7,944	9,089	1,145 (14.4)	15,984	【製商品売上原価】 《増加要因》・売上高の増加、販売品目の構成変化
製商品売上原価	7,904	9,046	1,142 (14.5)	15,905	
不動産賃貸原価	40	43	3 (8.0)	79	
売上総利益	13,525	13,352	△ 172 (△ 1.3)	26,431	
販売費及び一般管理費	10,030	10,285	255 (2.5)	20,306	
営業利益	3,494	3,066	△ 428 (△ 12.3)	6,125	
営業外収益	126	110	△ 16 (△ 13.2)	262	
営業外費用	10	15	5 (50.0)	16	
経常利益	3,611	3,161	△ 450 (△ 12.5)	6,371	
特別利益	—	—	—	—	【特別損失】 《増加要因》・資産除去債務会計基準の適用に伴う影響
特別損失	21	150	129 (603.0)	30	
税引前四半期(当期)純利益	3,590	3,010	△ 579 (△ 16.1)	6,340	
法人税等	1,543	1,262	△ 280 (△ 18.2)	2,698	
四半期(当期)純利益	2,046	1,747	△ 299 (△ 14.6)	3,642	

2. 製商品売上高

(単位：百万円)

(単位：百万円)

品名	2010年3月期 第2四半期 (累計)	2011年3月期		2010年 3月期	2011年3月期予想				
		第2四半期 (累計)	対前年同期増減(率：%)		対前期増減(率：%)				
ツルバダ配合錠	抗ウイルス化学療法剤 (抗HIV薬)	2,903	3,883	979	(33.7)	6,138	7,910	1,771	(28.9)
レミッチカプセル	経口そう痒症改善剤	1,452	3,320	1,867	(128.6)	3,556	6,780	3,223	(90.6)
アンテベート ※	外用副腎皮質ホルモン剤	3,084	3,149	64	(2.1)	5,977	6,220	242	(4.0)
注射用フサン ※	蛋白分解酵素阻害剤	4,195	2,979	△ 1,216	(△ 29.0)	7,863	5,810	△ 2,053	(△ 26.1)
ユリノーム錠 ※	尿酸排泄薬 (痛風治療剤)	1,870	1,734	△ 136	(△ 7.3)	3,626	3,370	△ 256	(△ 7.1)
セロトーン	制吐剤	1,318	1,039	△ 279	(△ 21.2)	2,539	2,040	△ 499	(△ 19.7)
ドボネックス軟膏	尋常性乾癬治療剤	876	883	6	(0.8)	1,721	1,820	98	(5.7)
ゼフナート	抗真菌薬	844	858	13	(1.6)	1,340	1,400	59	(4.4)
ビオスリー	活性生菌製剤 (整腸剤)	706	761	54	(7.8)	1,438	1,600	161	(11.2)
ロコイド ※	外用副腎皮質ホルモン剤	633	675	42	(6.6)	1,222	1,300	77	(6.4)
マグセント注	切迫早産における子宮収縮抑制剤	507	582	75	(14.9)	1,015	1,220	204	(20.1)
ウブレチド錠 ※	コリンエステラーゼ阻害薬	980	523	△ 457	(△ 46.6)	1,844	960	△ 884	(△ 48.0)
その他		1,945	1,925	△ 20	(△ 1.0)	3,847	3,830	△ 17	(△ 0.4)
計		21,321	22,315	994	(4.7)	42,133	44,260	2,126	(5.0)

(注) 自社品には、品名に※を付しております。

【参考】	自 社 品 売 上 高	11,671	10,031	△ 1,639	(△ 14.0)	22,338	19,780	△ 2,558	(△ 11.5)
	自 社 品 比 率 (%)	54.7	45.0	△ 9.7	—	53.0	44.7	△ 8.3	—

3. 売上原価

(単位：百万円)

	2010年3月期 第2四半期 (累計)	2011年3月期	
		第2四半期 (累計)	対前年同期増減(率：%)
売上高	21,469	22,441	972 (4.5)
売上原価	7,944	9,089	1,145 (14.4)
売上原価率(%)	37.0	40.5	3.5 —

(単位：百万円)

2010年 3月期	2011年3月期予想	
		対前期増減(率：%)
42,416	44,500	2,083 (4.9)
15,984	18,200	2,215 (13.9)
37.7	40.9	3.2 —

4. 減価償却費

(単位：百万円)

	2010年3月期 第2四半期 (累計)	2011年3月期	
		第2四半期 (累計)	対前年同期増減(率：%)
不動産賃貸原価	22	20	△2 (△11.5)
販売費及び一般管理費	215	230	14 (6.9)
製造費用	425	431	5 (1.3)
計	664	682	17 (2.7)

(単位：百万円)

2010年 3月期	2011年3月期予想	
		対前期増減(率：%)
43	40	△3 (△9.0)
455	489	33 (7.4)
910	883	△26 (△2.9)
1,409	1,412	3 (0.2)

5. 研究開発費

(単位：百万円)

	2010年3月期 第2四半期 (累計)	2011年3月期	
		第2四半期 (累計)	対前年同期増減(率：%)
研究開発費	778	960	181 (23.3)

(単位：百万円)

2010年 3月期	2011年3月期予想	
		対前期増減(率：%)
1,613	2,758	1,144 (71.0)

【開発状況】スギ花粉アレルギーエキスをを用いた舌下投与による減感作(免疫)療法薬の国内第Ⅲ相臨床試験を実施中。

Ⅲ. 財政の状況

1. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	2010年 3月期	2011年3月期 第2四半期		2010年 3月期 第2四半期	対前期末増減要因
			対前期末増減(率：%)		
(資産の部)					
流動資産	70,524	70,813	288 (0.4)	67,485	
現金及び預金	12,171	14,383	2,212	8,673	
キャッシュ・マネージメント ・システム預託金(注)	30,735	20,933	△ 9,801	28,623	
受取手形及び売掛金	16,422	17,123	700	16,488	【受取手形及び売掛金】 《増加要因》・売上高の増加
有価証券	4,697	12,201	7,504	7,694	【有価証券】 《増加要因》・債券の取得等
たな卸資産	5,592	5,193	△ 398	5,140	
その他	905	977	71	864	
固定資産	15,112	15,000	△ 112 (△ 0.7)	15,581	
有形固定資産	6,300	6,016	△ 284 (△ 4.5)	6,431	
建物	3,479	3,368	△ 110	3,579	
機械及び装置	1,731	1,518	△ 213	1,610	
土地	702	702	—	702	
その他	387	426	39	538	
無形固定資産	676	706	30 (4.5)	645	
投資その他の資産	8,135	8,277	141 (1.7)	8,503	
投資有価証券	2,876	3,289	412	2,881	
長期前払費用	3,736	3,462	△ 274	4,043	
その他	1,554	1,556	2	1,610	
貸倒引当金	△ 31	△ 31	0	△ 31	
資産合計	85,637	85,813	175 (0.2)	83,066	

(注) 「キャッシュ・マネージメント・システム預託金」は、JTグループにおいて国内グループ会社を対象としたキャッシュ・マネージメント・システムを統括している日本たばこ産業(株)への資金の預託であります。

(単位：百万円)

	2010年 3月期	2011年3月期 第2四半期		2010年 3月期 第2四半期
			対前期末増減(率：%)	
(負債の部)				
流動負債	9,770	8,902	△ 867 (△ 8.9)	8,147
買掛金	3,776	3,966	190	3,120
未払法人税等	1,973	1,307	△ 666	1,579
賞与引当金	1,113	1,178	65	1,178
その他	2,906	2,450	△ 456	2,268
固定負債	1,225	1,193	△ 32 (△ 2.6)	1,360
退職給付引当金	828	672	△ 156	950
その他	396	520	124	409
負債合計	10,995	10,095	△ 899 (△ 8.2)	9,507
(純資産の部)				
株主資本	74,398	75,523	1,124 (1.5)	73,312
資本金	5,190	5,190	—	5,190
資本剰余金	6,416	6,416	—	6,416
資本準備金	6,416	6,416	—	6,416
利益剰余金	63,648	64,773	1,124	62,562
利益準備金	1,297	1,297	—	1,297
その他利益剰余金				
特別償却準備金	7	6	△ 0	8
別途積立金	58,630	61,130	2,500	58,630
繰越利益剰余金	3,713	2,339	△ 1,374	2,626
自己株式	△ 855	△ 856	△ 0	△ 855
評価・換算差額等	243	194	△ 48 (△ 20.0)	245
その他有価証券評価差額金	243	194	△ 48	245
純資産合計	74,641	75,717	1,075 (1.4)	73,558
負債純資産合計	85,637	85,813	175 (0.2)	83,066

対前期末増減要因

【未払法人税等】
《減少要因》・法人税等の支払

2. 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2010年3月期 第2四半期 (累計)	2011年3月期		2010年 3月期	対前年同期増減要因
		第2四半期 (累計)	対前年同期増減		
税引前四半期(当期)純利益	3,590	3,010	△ 579	6,340	
減価償却費	664	682	17	1,409	
受取利息及び受取配当金	△ 112	△ 89	23	△ 219	
売上債権の増減額(△は増加)	△ 2,015	△ 700	1,314	△ 1,949	【売上債権の増減額】 《増加要因》・売上高(売掛金)の増加
たな卸資産の増減額(△は増加)	89	398	309	△ 362	
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 1,027	190	1,217	△ 371	【仕入債務の増減額】 《増加要因》・仕入高(買掛金)の増加
利息及び配当金の受取額	112	94	△ 17	206	
法人税等の支払額	△ 529	△ 1,903	△ 1,373	△ 1,459	【法人税等の支払額】 《減少要因》・前年同期：旧土気研究所跡地の売却に伴う法人税負担の減少(評価損の損算入)
その他	503	△ 178	△ 681	1,404	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,273	1,504	230	4,998	
定期預金の預入による支出	△ 6,500	△ 13,500	△ 7,000	△ 13,500	
定期預金の払戻による収入	—	7,500	7,500	7,500	
有価証券の取得による支出	—	△ 11,792	△ 11,792	△ 3,992	
有価証券の売却及び償還による収入	1,693	4,685	2,991	1,693	
有形固定資産の取得による支出	△ 629	△ 287	341	△ 1,067	
有形固定資産の売却による収入	—	0	0	2	
無形固定資産の取得による支出	△ 84	△ 165	△ 80	△ 216	
投資有価証券の取得による支出	△ 814	△ 900	△ 85	△ 814	
投資有価証券の売却及び償還による収入	2	2	△ 0	4	
その他	△ 4	21	25	△ 6	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,336	△ 14,436	△ 8,099	△ 10,396	
自己株式の取得による支出	△ 0	△ 0	0	△ 1	【配当金の支払額】 《減少要因》・期末配当金の増加
配当金の支払額	△ 594	△ 622	△ 28	△ 1,103	
リース債務の返済による支出	△ 39	△ 34	5	△ 77	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 634	△ 657	△ 23	△ 1,182	
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—	—	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 5,697	△ 13,589	△ 7,892	△ 6,580	
現金及び現金同等物の期首残高	41,987	35,406	△ 6,580	41,987	
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	36,289	21,817	△ 14,472	35,406	

(注) 現金及び現金同等物は、現金及び預金(預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除く)、キャッシュ・マネージメント・システム預託金、有価証券(取得日から償還日迄の期間が3ヶ月を超えるものを除く)からなっております。

IV. 設備投資の状況

	(単位：百万円)			(単位：百万円)		
	2010年3月期 第2四半期 (累計)	2011年3月期 第2四半期 (累計)	2011年3月期 対前年同期増減(率：%)	2010年 3月期	2011年3月期予想	2011年3月期予想 対前期増減(率：%)
有形固定資産(注1)	653	264	△ 388 (△ 59.5)	1,160	575	△ 586 (△ 50.5)
無形固定資産(注2)	90	162	71 (79.6)	240	297	57 (23.8)
計	743	426	△ 316 (△ 42.6)	1,401	872	△ 529 (△ 37.8)

(注1) 当期の有形固定資産に係る設備投資は、主に製品品質・生産性の向上を目的とする佐倉工場の製造設備への投資であります。

(注2) 当期の無形固定資産に係る設備投資は、主に業務の効率化を目的とするソフトウェアへの投資であります。

【予想数値に関する注意事項】

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発に関するリスク
- ◇ 製造の遅延または休止
- ◇ 訴訟等のリスク